

社会科 学習指導案

〇〇市立〇〇中学校

指導者 〇〇 〇〇

1. 日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇時限
2. 場 所 第3学年〇組教室
3. 学年・組 第3学年〇組 (〇名)
4. 単元名 個人の尊重と日本国憲法 (使用図書は、教科書：〇〇〇〇)

5. 単元の目標

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。

- ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義や民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解するとともに、現代社会にみられる課題に関する情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
- ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

6. 教材観

本単元は、個人の尊重と法の支配、民主主義など、法に基づく民主政治の基本となる考え方に関する理解を基に、政治及び法に関する様々な事象を捉え、考察し、表現する内容となっている。例えば、人間の尊重とはどういうことか、それはどのような方法で実現できるのか、なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのか、といったことについて、追究したり解決したりする活動を通して、日本国憲法の基本的な考え方及び我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について理解を深めることができると考えられる。また、その中に見られる現代社会の課題を見つけ、解決しようとするを通して、問題発見・解決する力を養うことができる。

7. 生徒観

省略

8. 指導観

小学校社会科における「日本国憲法が国民生活に果たす役割」や、中学校の歴史的分野における学習をふまえて、日本国憲法の基本的原則を具体的な生活との関わりについて考え、自由・権利と責任・義務との関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識させることが必要である。また、日本国憲法が、基本的人権の規定とそれを保障する政治機構を主な内容としていることなど、日本国憲法の構成を大きく捉えることができるようにすることが大切である。

それらを学習する過程で、現代社会の課題を追究し、友だちと意見を交流しながら、自身の考えを深められる学習にしていきたい。

9. 単元の評価規準

知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ②民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ③日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ④日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 ⑤現代社会にみられる課題に関する情報を効果的に調べ、まとめている。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	個人の尊重と日本国憲法について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全17時間）

○：総括的評価（記録に残す評価） ●：形成的評価（指導に生かす評価）

時	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
単元の導入 【1時間】	【単元のねらい】 私たちが個人として尊重されるには、どのようなことが大切にされなければならないのかについて考えさせる。				
	【単元を貫く問い】 「よりよい社会にするために、法や政治はどうあるべきなのだろうか。」 ・単元を貫く問いについて、自分の予想をたて、班で交流し、課題解決への見通しをもつ。 ・よりよい民主政治の在り方について、色々な立場や意見をふまえて考える。 【問】 「なぜ私たちの社会に政治は必要なのか」			●	●概念的な枠組みに着目して、これまでの学習をふまえて、この問いに対する答えを予想するなどして、解決への見通しを立てている。（観察・ワークシート）
第一次 【4時間】	【第一次のねらい】 立憲主義や法の支配、3つの基本原則などを基に、日本国憲法の在り方について考え、理解させる。				
	【第一次の問い】 「日本国憲法の3つの基本原則は私たちの生活にどのように関係しているのだろうか。」				
	①立憲主義や法の支配について理解する。 【問】 「なぜ憲法は必要なのだろうか」	●			●立憲主義や法の支配について理解している。（ワークシート）
	②大日本帝国憲法と日本国憲法の違いや3つの基本原則について理解する。 【問】 「日本国憲法はどのような特徴をもっているだろうか」	●			●2つの憲法の違いを基に、日本国憲法の特徴や3つの基本原則について理解している。（ワークシート）
	（本時） ③国民主権が実現されている具体的な場面について多面的・多角的に考察し、表現する。 【問】 「国民主権はどのようにして実現されているのだろうか」 ・象徴としての天皇の地位や国事行為について理解する。		●		●国民主権が実現されている具体的な場面について多面的・多角的に考察し、表現している。（ワークシート）

	④これまでの学習で身に付けた知識について理解する。 ・第一次の学習をふまえて、第一次の問いについて考えるとともに、現代社会の課題を見だし、解決策を考える。	○			○既習知識について理解している。(小テスト) ○第一次の問いについて、既習したことを基に考え、表現している。(ワークシート) ●現代社会の課題を見だし、解決しようとしている。(ワークシート)
第二次 【9時間】	【第二次のねらい】自由権、平等権、社会権や社会の変化による新しい人権など、人権保障の大切さを考えることを通して、日本国憲法と基本的人権の在り方について理解させる。				
	【第二次の問い】「私たちが安心して暮らすにはどのような権利が保障される必要があるか。」				
	①人権の保障を獲得してきた歴史を振り返り、日本国憲法ではどのように保証されているのかについて、理解する。 【問】「人権の考え方はどのように生まれ、発展してきたのだろうか」	●			●人権の保障を獲得してきた歴史を振り返り、日本国憲法ではどのように保証されているのかについて、理解している。(ワークシート)
	②私たちが自由に生きるために保証されている権利について調べ、まとめる。 【問】「私たちが自由に暮らすために、どのような権利が認められているだろうか」	○技			○私たちが自由に生きるために保証されている権利について調べ、まとめている。(ワークシート)
	③私たちが暮らす社会の平等に関する問題を見だし、どのようにすれば解決できるかについて考え、発表する。 【問】「私たちの社会は平等に関する問題に、どのように取り組んでいるだろうか」			○	○私たちが暮らす社会の平等に関する問題を見だし、どのようにすれば解決できるかについて考え、発表している。(ワークシート・発表)
	④「健康で文化的な最低限度の生活」とは、どのようなことなのかについて考える。 【問】「私たちが人間らしい生活をするために、どのような権利があるだろうか」		●		●「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのようなことなのかについて考えている。(ワークシート)
	⑤参政権が国民の人権をどのように保障しているのかについて理解する。 【問】「なぜ、参政権や請求権は、人権保障を実現する権利といわれるのだろうか」	●			●参政権が国民の人権をどのように保障しているのかについて理解している。(ワークシート)
	⑥新しい人権が生まれた背景や権利の内容について理解する。 【問】「新しい人権はどのような背景で生まれ、どのような権利があるのだろうか」	●			●新しい人権が生まれた背景や権利の内容について理解している。(ワークシート)
	⑦国際的な人権保障の取組みについて理解する。 【問】「国際的な人権を保障するために、どのような取組みがされているだろうか」	●			●国際的な人権保障の取組みについて理解している。(ワークシート)
	⑧権利が衝突したときに、どのように調整すればよいかについて考え、表現する。 【問】「権利と権利がぶつかったときにどのようにして解決すればよいだろうか」		○		○権利が衝突したときに、どのように調整すればよいかについて考え、表現している。(ワークシート)

	⑨これまでの学習で身に付けた知識について理解する。 ・第二次の学習をふまえて、第二次の問いについて考えるとともに、現代社会の課題を見だし、解決策を考える。	○		○	○既習の知識について理解している。(小テスト) ○現代社会の課題を見だし、解決しようとしている。(ワークシート)
第三次 【2時間】	【第三次のねらい】日本国憲法の定める平和主義に基づいて、日本の安全保障や世界平和の実現のために日本はどのような活動や対応が必要なのかを考えさせる。				
	【第三次の問い】「世界平和に貢献するために、日本はどのようなことができるだろうか」				
	①日本の平和主義の考え方の基で、どのように平和を守っているのかについて理解する。 【問】「日本国憲法の平和主義に基づいて、日本はどのようにして平和を守っているのだろうか」	●			●日本の平和主義の考え方の基で、どのように平和を守っているのかについて理解している。(ワークシート)
	②世界平和の実現のために日本にできる国際貢献について考え、表現する。 【問】「世界平和の実現のために、日本の平和主義に基づいて、日本はどのようなことができるだろうか」		●		●世界平和の実現のために日本にできる国際貢献について考え、表現している。(ワークシート)
単元のまとめ 【1時間】	【「単元のまとめ」のねらい】単元を貫く問いについて、第一次～第三次で学習したことを生かし、私たちが個人として尊重されるには、どのようなことが大切にされなければならないのかを考察、表現させる。				
	【単元を貫く問い】「よりよい社会にするために、法や政治はどうあるべきなのだろうか。」				
	・単元の導入で立てた予想をふまえて、学習を振り返り、単元を貫く問いについて、個人でまとめ、グループで交流し、自身の考えをさらに深めたうえで、表現する。		○		○単元の導入で立てた予想をふまえて、学習を振り返り、単元を貫く問いについて、個人でまとめ、グループで交流し、自身の考えをさらに深めたうえで、表現している。(ワークシート)

1 1. 本時の展開

(1) 本時の目標

国民主権が実現されている具体的な場面について、多面的・多角的に考察し、表現する。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の評価規準

国民主権が実現されている具体的な場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。

【思考・判断・表現】

(3) 本時の具体的な子どもの姿（判断の基準）

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)と判断する子どもへの支援
既習の事項をふまえて、国民主権が実現されている場面について考察し、表現している。	国民主権が実現されている場面について考察し、表現している。	- 資料の内容や語句の意味などを調べるように促す。 - 調べても分からない場合は、個別に声掛けをする。

(4) 本時の準備物

教科書、タブレット端末、ワークシート、ふりかえりプリント、

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 5分	○前時のワークシートの答え合わせと既習事項の確認を行う。 ○自分たちの生活の中で、国民主権が実現されている場面を考える。 [予想される生徒の反応] ・住民投票 ・選挙 など	☆生徒の予想があらかじめ出つくした後で、国民主権の定義を教科書で確認する。	
展開 40分	○めあてを確認する。 国民主権はどのように実現されているのかについて、考える。 ○それぞれの班に国民主権を実現している2つの場面の資料を配付し、まずは個人で考える。その後、同じ資料の人とペアになり、考えを共有する。 ○班の中で異なる2つの場面について、それぞれのペアで考えたことを共有する。その後、クラス全体で共有する。 ○教科書の内容を補足説明する。 ○ワークシートの穴埋めを行う。	☆憲法改正の手続きと裁判員裁判の資料を配付し、それぞれの場面で国民主権がどのように実現されているかを考えさせる。 ・国民投票がある ・自分たちが選挙で選んだ国会議員が憲法改正を提案している ・国民が裁判員として参加している ☆意味がわからない語句は端末等を使い調べるように促す。	●国民主権が実現されている具体的な場面について多面的・多角的に考察し、表現している。【思】（ワークシート）
まとめ 5分	○本時のふりかえりを行う。	☆本時の学習で気になったことやもっと調べたいことなどがあれば書かせる。	